

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

### 平成28度福岡県移住者子弟留学生 7名が福岡での新生活をスタート!

今年度も、福岡県移住者子弟留学生7名が来日し、1年間の留学生生活をスタートしました。初めての福岡での生活に、留学生同士で協力しながら元気に学校生活を楽しんでます。また、5月12日には、服部副知事を表敬訪問しました。副知事より、「1年間という短い期間ですが、この1年は皆さんの人生の中で貴重な時間になると思います。福岡で多くの友人をつくり、7人で切磋琢磨しながら、大きく成長することを期待しています。」と激励の言葉をいただきました。



【服部副知事と記念撮影】

#### 県費留学生の紹介



早く日本語を覚えて、話せるようになります。もっと上手にイラストを描けるようになって、自分のマンガを描きたいです。そして、日本人の友達もたくさんつくりたいです。(パー:松藤 福田 カロス アウグスト)



私は人見知りをする性格なので、知らない人と話すのは得意ではありませんが、最近一緒にご飯を食べに行ける友達ことができました。大切にしたいです!そして、鍼灸や整復術の新しい知識を学び、今後リハビリの患者さんに実施できるように力をつけたいです。(ホリア:八田 生香)

この一年間、教育について一生懸研究して、帰国後は母国ブラジルの社会に貢献したいと思います。日本語も精一杯勉強したいし、日本の文化をもっと深く学び、友達をたくさんつくって、これからもずっと自分の国と日本、福岡県のつながりが続くように頑張りたいと思います。

(ブラジル:中村 クリシアネ 小百合)



この1年間の最大の目標は、栄養管理や料理実習などを覚えて、患者さんの栄養相談を更に極めたいです。そして笑顔の絶えない「友達の輪」を広げていきたいです。また、日本に関しての知識も、もっと深めたいです。

(パラグアイ:山崎 亜希)



私は、日本語をもっと上達させて、日本語能力試験2級に挑戦したいです。また、祖父母が教えてくれた日本文化や自分のルーツをもっと発見したいです。日本に住む家族との関係を強めて、これからも守っていきたいです。(ブラジル:浅野 レナン ゆうじ)



私が日本で学びたい事の1つ目は、研究生として、ブラジルで学べなかった日本独特の美術感覚を身に着けたいです。2つ目は、逆に、ブラジルの美術感覚を日本人に紹介したいです。また、大学での研究だけではなく、日本での日々の生活そのものが私の大きな学びになると思っています。(ブラジル:清水 愛実 サラ)



私は、大学で新しい知識を学べて楽しいです。日本語は少し難しいですが、先生や友達がたくさん手伝ってくれます。また、大学や寮、所属している「よさこいソーラングループ」で友達もできました。(ブラジル:池尻 直美 カレン)

#### 人事異動のお知らせ

福岡県の人事異動に伴い、当センターの事務局長と県人会を担当する企画交流課の課長が代わりました。

【公益財団法人福岡県国際交流センター事務局長】

【企画交流課長】

わたなべ あや  
 (旧)高崎 陽子 → (新)渡辺 文

おかまつ しょうぞう  
 (旧)入江 啓之 → (新)岡松 省三